



Business Report

第78期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日



代表取締役社長

曾谷 太
Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第78期中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進展し、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、国内景気は回復の兆しを見せ始めております。一方、海外では、欧米主要国の政策金利が高水準で推移したこと等により一時的な変動がありながらも円安基調となったことや、ウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇、中東問題、中国の不動産不況などの影響から、当社グループの経営環境は、依然として先行き

不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・建材、化粧品、介護食、特殊素材を用いたアパレル等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

その結果、自動車部品業界向け高機能

樹脂製品の販売が新規顧客の獲得等により海外において大きく伸長したことや、スマートフォン向けコーティング製品の受注動向が順調に推移したことで、営業利益が前年同期を大幅に上回りました。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続き新規顧客の獲得や差別化製商品の拡販及び新規素材の発掘や市場の開拓等、グローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。



経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知恵を生かしながら
『お客様にとってなくてはならない』存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています



SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.





社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

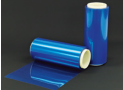
【メーカーと商社2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「メーカー機能」と「商社機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高：10,563 百万円（前年同期比 13.3%増）	営業利益：1,362 百万円（前年同期比 95.5%増）	自動車部品業界向け製商品の販売において新規顧客の獲得等により、北米や中国において高機能樹脂製品の販売が大きく伸長したことや、スマートフォン市場の受注環境が緩やかに回復したことで海外子会社での遮光部材の販売が順調に推移し、売上・営業利益が増加しました。
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高：3,389 百万円（前年同期比 46.9%増）	営業利益：92 百万円（前年同期比 10.3%減）	塗工用バインダーが一部顧客での商流変更に伴い取引が増加したことや、差別化製品の市場開拓や販売促進等で売上高は増加しましたが、利益率の高い一部製品の売上が伸び悩んだことで営業利益は減少しました。
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グアーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高：1,188 百万円（前年同期比 12.5%減）	営業利益：63 百万円（前年同期比 25.7%減）	乾燥野菜は安定した需要に下支えられ、増粘安定剤はアラビアガムの安定供給を継続して確保できたことで順調に推移したものの、ローカストビーンガムが過年度の不作に起因した供給環境の悪化で市場価格が乱高下したことにより、需要が急減したことで、売上高・営業利益が減少しました。

◆ 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (千円)

科 目	前連結会計年度 2024年 3月31日現在	当中間 連結会計期間 2024年 9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	19,455,604	21,759,097
固定資産	7,404,267	7,911,846
有形固定資産	3,242,672	3,958,005
無形固定資産	115,922	122,073
投資その他の資産	4,045,671	3,831,767
資産合計	26,859,871	29,670,943
【負債の部】		
流動負債	5,183,113	*9,370,956
固定負債	4,422,541	1,468,145
長期借入金	4,000,000	500,000
資産除去債務	64,461	64,548
退職給付に係る負債	5,688	6,005
その他	352,391	897,592
負債合計	9,605,655	10,839,102
【純資産の部】		
株主資本	13,935,796	15,000,724
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	4,406,235	5,472,994
自己株式	△59,602	△61,433
その他の包括利益累計額	3,318,419	3,831,116
純資産合計	17,254,215	18,831,841
負債純資産合計	26,859,871	29,670,943

* 当中間連結会計期間の流動負債には、「1 年内返済予定の長期借入金 4,000,000 千円」が含まれております。

◆ 株主の状況 (2024年 9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株
発行済株式の総数 1,958,734株
株主数 1,519名
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
株式会社 S B I 証券	50	2.6
三菱 U F J 信託銀行株式会社	47	2.5
株式会社三菱 U F J 銀行	42	2.2
秋元 利規	40	2.1
ソマール従業員持株会	27	1.4
INTERACTIVE BROKERS LLC	26	1.4

(注) 持株比率は自己株式 (20,265株) を控除して計算しております。

中間連結損益計算書 (千円)

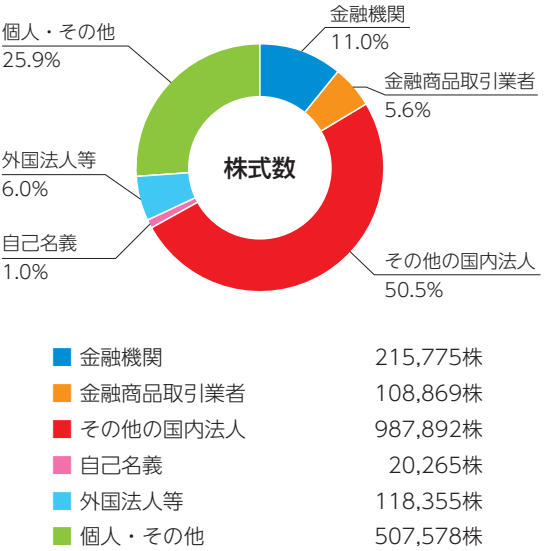
科 目	前中間 連結会計期間 2023年 4月 1日～ 2023年 9月30日	当中間 連結会計期間 2024年 4月 1日～ 2024年 9月30日
売 上 高	13,031,115	15,177,883
売 上 原 価	10,500,883	11,826,245
売 上 総 利 益	2,530,232	3,351,638
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,784,238	1,980,342
営 業 利 益	745,993	1,371,296
営 業 外 収 益	85,444	134,250
営 業 外 費 用	17,052	19,263
経 常 利 益	814,385	1,486,283
特 別 利 益	－	183,199
特 別 損 失	*338,509	24,004
税金等調整前中間純利益	475,875	1,645,477
法 人 税 等 合 計	32,994	442,997
中 間 純 利 益	442,881	1,202,480
非支配株主に帰属する 中 間 純 損 失 (△)	△224	－
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	443,106	1,202,480

* 前中間連結会計期間の特別損失には、「退職給付制度改定損 320,232千円」が含まれております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (千円)

科 目	前中間 連結会計期間 2023年 4月 1日～ 2023年 9月30日	当中間 連結会計期間 2024年 4月 1日～ 2024年 9月30日
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	1,038,852	54,052
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△416,237	△99,407
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△98,171	662,885
現金及び現金同等物に 係る 換 算 差 額	251,804	399,973
現金及び現金同等物の 増 減 額 (△ は 減 少)	776,247	1,017,503
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	4,866,451	6,343,663
現金及び現金同等物の 中 間 期 末 残 高	5,642,699	7,361,167

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2024年9月30日現在)

商 号	ソマール株式会社
英 文 商 号	SOMAR CORPORATION
設 立	1948年2月26日
資 本 金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従 業 員	連結 465名 単体 325名

◆ 役 員 (2024年9月30日現在)

代 表 取 締 役 社 長	曾 谷	太 樹
取 締 役	小 林	次 久
取 締 役	牛 尾	正 成
取 締 役	関 口	幸 幸
取 締 役	三 村	久 根
取 締 役	坂 本	昇 之
取 締 役	春 日	彦 信
常 勤 監 査 役	今 井 原	孝 俊
監 査 役	亀 山	晴 玲
監 査 役	中 島	史 史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確 定 日	3月31日
中間配当金受領株主 確 定 日	9月30日
株 主 総 会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公 告 の 方 法	東京証券取引所 電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.somar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.somar.co.jp>

